

ドル円、135 円台前半に下落

GLOBAL MARKETS RESEARCH

リサーチアシスタント 齋藤 賢斗

三菱 UFJ 銀行

A member of MUFG, a global financial group

令和 4(2022)年 7 月 4 日

前営業日の市況

ドル円は 135.80 で寄り付き後、東京仲値公表前後に高値 135.99 まで上昇した。しかし、前日の米個人消費支出の伸び鈍化などを背景に米経済の減速懸念が高まるなか、国内外株式市場の下落に加え、米長期金利が 3%の大台を割り込む展開に、ドル円は安値 134.75 まで反落した。海外勢参入後は一時 135 円台後半まで反発する場面もあったが、戻りは鈍かった。6 月の米 ISM 製造業景気指数が事前予想を下回ると、米長期金利は一段と低下、ドル円も 134 円台後半まで押された。終盤には米株が上昇したこともあり、ドル円も 135.22 まで戻して引けている。

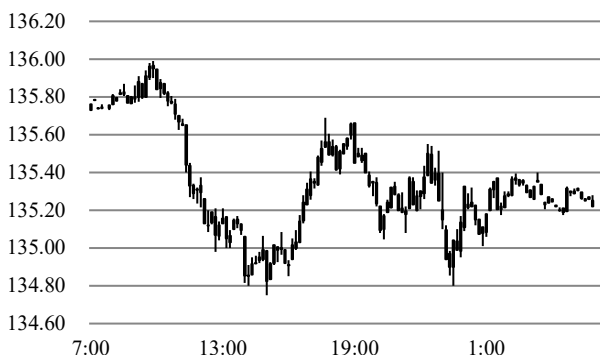
本日のポイント

先週は円、ドル、スイスフランといった通貨が強く、リスク回避地合いが継続した。米景気の減速懸念が高まるなか、金曜日海外時間に一時 20bp を超える利回り急落をみせた米長期金利の動向に左右される時間帯が続きそう。一方、今週は 5 日に豪準備銀の理事会も控えている。6 月にみられたように、内外金融政策の方向性の違いが再び意識されやすい展開も見込まれる。ただ、本日は米国市場休場ということもあり、ドル円の値幅は限られそうだ。(齋藤)

本日のディーラー予想

ドル円	ユーロドル	ユーロ円
134.50~136.00	1.0370~1.0500	140.30~142.00

前営業日のドル円相場推移



直近1年のドル円相場推移



(出所) グラフは Bloomberg EBS、文中の為替データは弊行 4 本値

